

## 臨時幹事会議事録

発行:2021年2月21日  
議事録作成者:山田 基生

【日程】2021年2月18日(木) 22:00~23:50

【開催場所】zoom

【議題】2020年度インカレミドル・団体戦の開催判断に関して

### 出席者（敬称略）

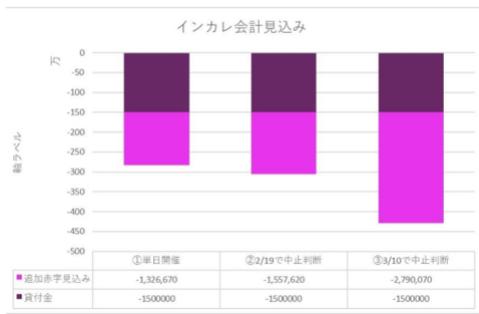
氏名	役職	学校名
河合 利幸	会長	大阪大学卒
山川 克則	理事	東京大学卒
木村 佳司	理事	山口大学卒
谷野 文史	幹事長	筑波大学
大石 洋輔	副幹事長	早稲田大学
片岡 佑太	事務局長	大阪大学
金澤 晴樹	事務局員	京都大学
山田 基生	広報部長	東北大学
寺田 直加	渉外部長	東北大学
佐藤 珠穂	会計監査	法政大学
原 柊斗	北東学連幹事長	岩手大学
滝澤 伊織	北信越学連幹事長	新潟大学
若月 俊宏	関東学連幹事長	東京工業大学
栗生 啓介	東海学連幹事長	名古屋大学
牧島 滉平	中九四学連幹事長	広島大学
糸賀 翔大	インカレ実行委員会	東京大学卒
実藤 俊太	インカレ実行委員会	京都大学卒
築地 孝和	インカレ実行委員会	神戸大学卒

(注1) 議論の本筋と関係のない会話は適宜削除している。

(注2) 議論の流れを明瞭にするために、一部発言の順番を入れ替えている。

以下、議事録開始

谷野	先日開催判断に関するアンケートの結果が出た。結果としてはMEが30名/60名(50%)、WEが22名/31名(70%)と参加者数が少ない状態となっている。各大学とやりとりをとっていたが、緊急事態宣言が解除されるまでは分からない、参加できないという大学が多数であった。
谷野	総会で開催基準を決定した。判断が難しい状況になった場合に判断がしやすいように開催基準を定めようとして決定したものであり、その判断日が明日2/19となっていた。期日までにインカレ参加者が集まらなければ中止とするのが既定路線であった。
谷野	今回の幹事会では中止か、開催判断を引き延ばすかを議論する。なお開催判断を引き延ばすことになった場合、総会で採決を取る必要がある。
谷野	<p>まず論点を説明する。</p> <p>1つ目としては総会で判断基準を決め、これは各大学渉外担当が集まる総会にてほぼ満票で賛成が得られた。つまり各大学の総意で判断基準を決定わけであり基準に基づいて中止判断を下すのは理論として通っている。</p> <p>2つ目は会計状況である。先日、会計担当者を集めてミーティングを行なった。今の会計状況としては来年度の支出を手持ちの口座から捻出できないくらいに厳しい状況であり、基本財産はあるが将来のことを考えると使うべきではないという意見で一致した。先日、開催判断の引き延ばしについて slack 内で意見募集を行ったが、その際にも幹事の多くは会計面を理由に引き延ばしはするべきではないと主張した。</p> <p>3つ目は開催見込みである。引き延ばすとはいうものの現実としては先ほど話した通り ME 参加者が 30 名/60 名 (50%)、WE 参加者が 22 名/31 名 (70%)、加盟校で考えると 21 校/48 校が参加できない。こうした結果を踏まえて、開催を引き延ばしたとしても実際開催できるか分からない。</p> <p>この3つの論点の上で以下の2つの案について議論し本日決定したい。 1つは判断基準に基づき中止を決定する案、もう一方は臨時総会を開催し、中止案と開催判断の引き延ばしを行うが中止となった場合でも参加費は半額しか返さないという案である。</p>
谷野	<p>2つ目の案が出た経緯について説明する。</p> <p>幹事の見解からは開催判断を引き延ばすと会計に悪影響を及ぼすので、赤字は食い止めるべきだという意見が出た。赤字を食い止めるためにただ引き延ばすだけでは良くないという合意であった。そこで開催判断を延期してかかる費用を総会で了解を得た上で負担してもらおうという案である。正直、開催するためのあがきのような案である。実行委員会に試算していただいた結果、半額回収することで判断を延期しない場合と同程度の赤字まで抑えることができることがわかっている。</p>
谷野	<p>今後のスケジュールに関して説明する。</p> <p>もし中止が決定した場合には 2/20 に公開する予定である。臨時総会をかけ</p>

谷野	る場合は判断を遅らせるたびにお金がかかってくるので明日 2/19 に開催する。無理やり各校一人ずつ出してもらい、事情説明を行い、2/20 の夕方までに意見募集、投票を行う予定である。												
山川	2/21 にインカレに関する大きな作業が入っている。もし中止判断を下した場合にはお詫び案件の渉外のみを行う予定である。												
谷野	他にも、選手として考えた時に3日前まで開催判断ができない状況はどうかという論点もある。												
山川	とても重い判断を下してもらうことになるので気になることがあれば言ってほしい。												
寺田	Slack でアンケートを行った際には会計面のことは考えず意見を出して欲しいとの意見があったが、今回の判断に関しては会計面を考慮すべきか。												
谷野	開催準備にかかった費用に加えて、3/10 まで開催判断を引き延ばすと赤字は膨らんでしまう。【以下の図を参照】  <table border="1" data-bbox="414 1052 893 1120"> <thead> <tr> <th></th> <th>①単日開催</th> <th>②2/19で中止判断</th> <th>③3/10で中止判断</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■追加学費見込み</td> <td>-1,326,670</td> <td>-1,557,620</td> <td>-2,790,070</td> </tr> <tr> <td>■買付金</td> <td>-1500000</td> <td>-1500000</td> <td>-1500000</td> </tr> </tbody> </table> <p>先ほど説明した参加費を半額だけ徴収する場合は 2/19 に中止判断を下す場合と赤字は同程度まで改善できるので、会計的には2つの案であれば一緒だと考えてよい。</p>		①単日開催	②2/19で中止判断	③3/10で中止判断	■追加学費見込み	-1,326,670	-1,557,620	-2,790,070	■買付金	-1500000	-1500000	-1500000
	①単日開催	②2/19で中止判断	③3/10で中止判断										
■追加学費見込み	-1,326,670	-1,557,620	-2,790,070										
■買付金	-1500000	-1500000	-1500000										
山川	開催判断を引き延ばした時に学生に半額負担してもらおうとの意見が学生から出たが、そういった学生負担の行動を OB が止めるべきだという意見も実行委員会から出ている。												
谷野	本当は多くの案が出せればいいのだが、時間もなく、代替案もうまく出ない現状を踏まえると、半額負担になるということを学生全員で決めてそれでもインカレを守ることにしたという流れがいいのではないかと考えた。												
木村	まずこの場で決めるのがいいのか。結論から言うとすぐに総会にかけたほうがいいと考えている。幹事会で判断できないのなら総会しかない。総会で判断したことは全員が納得する。難しい判断をするのなら総会にかけろべき。以前決めた基準は明らかに判断が分かれる時には有効ではあるが、微妙なところでは状況によって変わるの仕方がない。そういう時こそ総会であると思う。また、幹事会で決定するのも、総会で決定するのも今のスケジュール感では1日しか変わらず、この1日にかかるお金が変わらないのなら総会を開催すべきだと考えた。												
谷野	総会にかけろ内容としては中止とするか中止としないか、もしくは中止か代替案の選択のどちらか。												
木村	幹事の皆さんもまだ判断に迷っているように思う。幹事会では迷っており、総会に決めていただくという考え方である。												

河合	アンケートの状況を見る限りは引き延ばしても変わらないようには思う。木村氏のおっしゃる通り、幹事の負担が大きいように思うので、総会で判断するのが良いのではないか。
山川	法律解釈的には中止するなら幹事会で決めてしまったほうが議論の流れとして正当である。少なくとも総会の人には幹事よりも背景のない状態で判断を下すことになり無責任の発言となってしまふ。幹事に対してはかなり勉強させており、中止とするならば幹事内で決めてしまつて良いという法体制となっている。①の中止となるならば今日決めてしまつて良い。法的には有効である。②については総会にかけするのが正当な流れである。
河合	状況がよくわかっていない人に任せると適切な判断ができない可能性があるという意見は納得できる。
山川	③学生が半額負担 についてはどう考えているか。自分の意見としてはそれくらいの赤字なら OB としてなんとかするという考えが山々である。ポスト山川議論が盛んになっており、いつまでも山川さんに頼ってはいけないという意見が主流であり、そう考えた時に学生に半額出させるよりかは OB がなんとかするからお金のことは気にせずに後悔しない選択をして欲しいという思いもあるがどうか。私がこれを言い出すともう山川さんに頼るべきではないという意見になってしまう。
木村	開催延期による追加赤字はいくらなのか。
山川	インカレロングで 370 万円を赤字として使用した。インカレスプリントに関しては谷野がゼロにした。もしインカレミドルを引き延ばして開催できるならば①の赤字となる。元々 2 日間大会を 1 日としたので赤字は 270 万円程度であり、150 万円の貸付をすでに行なっており、中止となった昨年度春インカレから 180 万円が戻ってくるので、これ以上の持ち出しは必要なく単日開催は可能となる。しかし、引き延ばして中止となるとさらに 150 万円赤字が増加する。
木村	開催判断を延期して単日開催のつもりで準備したが開催できなかった場合、増える赤字の額は 150 万円程度と考えて良いか。
谷野	その通りである。
木村	150 万を気にする必要がないなら判断を遅らせることができるという認識で良いか。
山川	ただし情勢的には 3/7 以降になってしまう。
木村	もちろん判断はそうである。
谷野	会計について補足すると、山川氏のおっしゃる通り、すでにインカレロングに 370 万円使用しており、③開催判断の延期を選択した場合には 370+150+貸付金を合わせて単年で 700~800 万円使用してしまうことになる。この場合、日本学連として今後は厳しいと推測された。加盟費や地図代の値上げも議論にあがったが、山川氏に頼ることになる。長期的に返していけばいいとの意見もあったが、山川氏の体調のこともあり長期的に考えると、誰かがいなくなるとうまく回らなくなる日本学連であつてはいけないと思う。
木村	長期の話ではなく、今回の議論はインカレミドルの単日開催を行う予定で開催判断を引き延ばして開催できなかった際の差額の話をしている。単純に 150 万円で判断延期を買うか買わないかの短期的な話である。

木村	そうであれば 150 万円は OB でなんとかできると思う。 例えば、誰かが代表して 150 万円を払う、15 万円ずつ 10 人から集めると行ったような話である。
谷野	幹事が頑張っ集めるという話か。
木村	コロナ禍であるので OB にすがってもいいのではないか。 学生から半額を徴収するのは学生にとって負担が重すぎる。
谷野	今年度、賛助金の募集、インカレスプリント寄付金などいろんな形でお金を集めて、日本学連に対して合計 100 万円程度の寄付金をいただいている。個人としては OB にお願いすることもあるが、頼りすぎるのもよくない。日本学連で解決できる手段も考えるべき。
山川	大学の対応を考えると 3/10 まで判断を伸ばしても開催できる可能性は低い。 実行委員会を中心にそれでもあがきたいという思いを持つ人が多い。
佐藤	寄付金を集めるという案について会計監査として言わせてもらうと、集めようと思えば集まると思うが、寄付金をあてにするのであれば、先に寄付金を集めてから提案すべき。寄付金を集めようと思えば集まるだろうというそれありきで会計の案を立てて赤字にするのは会計の在り方としては不健全であると思う。OB が寄付金でなんとかするとおっしゃるのならば集めてからおっしゃっていただかないと学生にはその判断はしかねるのではないか。
片岡	お金の話ばかりになっているが、そもそもインカレを開催するかしないかはエリート選手の人数で決めるという話であったと思う。何人が参加できなくてそのうち何人が 3/7 まで待てば参加可能なのか具体的な数字を共通認識として持っておいた方が良いのではないか。
谷野	21 校/48 校が現在参加できない状況である。エリート選手の人数で決めると言っているが、セレクションの前からインカレに出られない大学、就職先との関係で大会に出るのを控えなければならない選手、中九四学連の場合は広島大学が出られないので卒ごと返上している。選手権の数よりも厳しい状況になっている。エリート選手がいる大学に関しては個別でヒアリングを行っているが、緊急事態宣言が解除されるまでわからない、解除されたとしてもそこから学生生活課が判断を考えるのでインカレに出られるかは直前までわからないと回答した大学が多い。
片岡	参加校は半分くらいであるが、参加人数という面では半分よりももっと少ないという認識で良いか。
谷野	各大学のウェイトがあるのではっきりとは言えないがそう考えて良い。
山川	具体的には北海道大学、広島大学、岩手県立大学は参加できないという。また、関東の主だった大学や東北大学は 3/7 待ちであるという。20 校程度の大学の判断がひっくり返る可能性もゼロではない。
谷野	各大学の部員とやりとりを行っているが、どの大学も一生懸命交渉してくれていて、解除されたら行けますよねという聞き方をしても回答を得られないという相談をかなり受けている。
谷野	寄付金の話に戻る。佐藤の意見では寄付金は集めてから議論をした方がいいという意見があったがどうか。
糸賀	おっしゃる通りで本来であれば寄付金を集めてから行動するのが健全な形ではあるが、コロナの状況下では健全なプロセスを踏むのが難しいというのも

糸賀	事実である。100 年程度は経験することのない状況下にいるので、順番は必ずしも綺麗である必要はないように思う。個人的には、3 日前までインカレがあるかないか分からないということに対して、実際に参加する選手のモチベーション的にはどうなのかが気になっている。
谷野	寄付金に関しても、前代未聞のことであるので、どちらが正しいかは分からない。会計としては佐藤よりの意見である。OB 頼りになってしまうのは学生主体の日本学連において良くない。また、寄付金が集まるか未確定なままで判断するのは良くないと思う。木村氏、糸賀氏のおっしゃったようにインカレに熱がある、学生を支えたいという OB もたくさんいらっしゃるのでは集めようと思えば集まるとは思っている。
谷野	糸賀氏からご指摘があった開催 3 日前まで開催できるか分からない状況は選手にとってどうかという質問に関してどう考えるか。3/10 は実行委員会に出していただいた最終の開催判断日である。3/10 としたのは 3/7 に緊急事態宣言が解除されるので 1～2 日で大学の対応が変わるかもしれないとの理由からである。
大石	個人的な感覚では、オリエンテーリングが大好きなので 3 日前に中止になるとしても頑張りたいとは思っている。
山田	選手としては 3 日前判断でも参加したい気持ちはある。ただ東北という地理的要因を考えた時に 3 日前の開催判断で中止となった場合には部員全員が交通費等での負担を抱えることになってしまう。
片岡	関西にいる人の感覚としては関西にいるエリートは今の開催不透明な状況でもトレーニングを頑張っている印象である。個人的な意見としては論理的な考え方と自分の感情が一致していないので今日投票するのは厳しいというメンタルである。
谷野	選手の気持ち、地理的要因にもよるだろうと感じた。
粟生	学生として 3/10 まで開催判断を伸ばせるチケットが 3000 円で買えるなら買うので伸ばしたいとは思っている。コロナも落ち着いてきており、3/7 に緊急事態宣言も解除されるので、3/10 に開催基準を満たす可能性もあると考えている。
谷野	今の意見は個人としての意見か。
粟生	そうである。個人的には開催判断を伸ばしたい。
滝澤	選手としては 3 日前でも負担としては変わらないように思う。地方のほうがコロナに対する認識が厳しく、大学が許可しない可能性が高いので、開催判断を伸ばしても開催できる見込みはないと思う。お金の面で見れば 2 つの案が変わらないのはわかるが、伸ばしても開催できないのではないかと考えてしまうのでここで中止とするのもありだと思ふ。
若月	私自身、現在インカレ参加を認められていない大学に所属しており、交渉している感覚だと、たとえ判断基準日を伸ばしたとしてもひっくり返らないだろうなという肌感覚で過ごしているという背景を持って話すと、判断基準を伸ばすチケットを誰かが負担して買うのは見込みが低すぎると感じてしまう。
原	選手個人としては 3 日前であっても参加したいが、東北という土地柄もあり移動手段が限られてしまうので 3 日前だと厳しい印象を持っている。お金の

原	問題に関して、肌感覚的には半額しか返ってこないとしても気にする人は少ないように思う。
牧島	私も大学から参加許可を得られていないので、出られない大学の気持ちはよく分かる。大学の状況を見ても、3/10に参加許可を出す大学は少ないように思う。幹事会で中止するのも1つの案である。枠がない中九四学連の私がそういった判断を下すのもどうかと思ったので、インカレに出場する選手たちの声を聞くために総会を開いて意見を聞きたい。
寺田	個人的にはできるならギリギリまで伸ばして欲しいという思いはある。先週主務と話した中で、緊急事態宣言が3/7に解除されたとしても大学が活動許可を出すまでにはラグがあり、解除されたからといってすぐに参加できるとは限らない。正直インカレに参加できる可能性は低いように感じている。総会に投げても日本学連の会議のプロセスを踏んでいないから適切ではないという意見もあったが、実際に各大学の主務のご意見も伺ってみるという面でも総会にかけてみた方がいいように思う。
谷野	日本学連が所属する UNIVAS の方に各競技団体の大会状況を伺った際、3月に開催される大会はほとんど中止を決めているとのことであった。その理由としては出られる大学が少ないからという。オリエンテーリングのみが唯一判断を決めていないとおっしゃっていた。
山川	簡潔にいうと悪あがきしているのはオリエンテーリングだけである。
山川	ここまでの意見を聞いて会長としてどう考えているか。
河合	客観的にみると中止が妥当である。
木村	現在の日本学連の1年生の数はとても少ない。私の知る山口大学オリエンテーリングクラブと信州大学オリエンテーリングクラブはもうなくなっており、そういったことを経験した身としては、はっきりいって1年人が少ないというのは日本学連にとって危機である。これが続くのは良くないし、ここで無理をする必要があると思っている。このままではしぼんでしまう。もし総会を開けるのであれば総会で図って欲しい。
谷野	手続きに関して補足する。先ほど牧島が中九四学連として枠を返上したから判断に加わるのはどうかと意見を述べていたが、日本学連の規則として、幹事長、副幹事長、各部局長、地区学連幹事長によって決まる。重い判断にはなるがよろしくお願ひしたい。棄権の選択肢も設ける。総会に投げることも可能であり、総会に関しては各校1票の投票になる。幹事がインカレ開催判断をできる理由については総会に基づいた開催基準を設けて判断をするからである。
山川	幹事会に決定権があるという法解釈である。
谷野	中止基準に基づき中止することは簡単であるが、日本学連としてそれはどうなのかという意見があれば総会に投げることも可能である。各校の意見を聞くことは重要であり、引き延ばす案があれば、選手として出たいという気持ちがあると思うので賛成に動くのではないかと考えている。ただし事情をしっかりと把握している幹事としての責任もあるので、現在の状況、将来について考えて幹事で決めるのも手であると思っている。
山川	今日決めてしまうか総会にまわすかを決めれば良いと思う。
谷野	総会に投げる場合は中止 or 中止にしない の2択で採決をとるのか、代替

谷野	案も含めて採決をとるのか。
山川	後者である。皆の意見を総合すると幹事会で決めるか総会に投げるかを今日決めるのが良い。総会に投げる場合には、谷野にはもう一度説明してもらわなければならない。木村氏の意図はそこであるという認識で良いか。
木村	そうである。皆で納得して決めなければならないし、総会で決めたことは納得できる。皆が納得できることが重要だと思う。
山川	法的に今日決められるということも納得したか。
木村	もちろんそれは承知している。私としては、幹事では中々決めにくいと思っている。明らかにこの場で中止と言えれば良いが、幹事はそう思っていないはずである。そうであるならば総会にかけるべきだと思う。
谷野	今日判断できることとしては幹事内で決断を出すか、総会に投げるかを定めることである。
糸賀	少し実行委員会の内部の話をさせて欲しい。実行委員会側でも開催是非について様々な意見が出ている。正直なことをいうと、開催するかわからないけど地図の細かい所を見て整える作業をストレスに感じている人もいるのが事実である。提案として3/10まで開催判断を遅らせるという案を出したが、個人的には、ここで決められないから総会に投げて決を採るよりかは、事情をよく分かっている幹事にある程度意思を持って決めてほしい。総会にかけるのであれば、幹事も延期にしてでも開催を探るぞという心持ちでいてくれると嬉しい。幹事会で決められないから、総会に投げて、なんとなく賛成が多かったから延長でという流れだと準備する側として少しやりづらいように感じた。どういう結論になっても構わないが、そういったことも知っておいてほしい。
山川	その考えも納得できる。総会になるとますます背景をよく知らない人に委ねてしまうことになり、実行委員会には失礼であるように思う。
糸賀	いろんな選手の話聞くべきだという意見も尤もである。
実藤	賛成派の意見と反対派の意見を1つずつ言いたい。代替案を出したのは自分が4年間インカレに参加して、インカレは特別なものだと感じたので、今の現役生にも参加して欲しいからである。サドンデス方式というややこしい案ではあるがぜひインカレを開催するために判断を延期しようというのが代替案である。一方で、中止すべきだという意見も自分の中にある。開催基準がME参加者45人以上である中、1月末の時点で40人参加できる予定で、2/19の時点でも、もう少しで開催基準を満たす人数(40~42人)ではあった。あと数人ならば一つの大学が覆るだけでインカレが開催できるからサドンデスにすればいいのではないかとということで谷野に意見を投げた。しかし東北大などの大学が行けなくなり、現在ME参加可能人数が30人と開催基準にはほど遠い状況となっている。個人的には3/10まで待っても開催できる可能性は低いように感じている。
谷野	インカレ実行委員会の方々がおっしゃったことは尤もである。自分の中にはどうしても去年のイメージが残っている。去年も5月なら開催できるだろうと判断したり、総会にかけたりしたが、皆、開催したい思いがあるので引き延ばしの方向には進んでいるが、実際問題、お金も心も負担がかかってしまった。特に実行委員会の方々には疲弊されていた。実行委員会の方々はそので

谷野	も大丈夫とはおっしゃっていただいているが、それも人頼みのような気もする。個人的には引き延ばしは賛成派ではなく、引き延ばしていいことはあるのだろうか悩んでいるところはある。
谷野	自分の意見を述べる。まず幹事で決めるか、総会で決めるかに関しては、幹事で決定すべきであると考えている。総会に投げるとしても、幹事できちんと考えた上で総会に投げるべき。選手としてはいくらお金がかかっても出たい。しかし、組織のトップとして、今後のこと、現実を考えると、実際問題、開催基準を満たせるかどうかは黒に近い。引き延ばしでのメリットは果たしてあるのかと思う。直前で中止になった時に選手にとっても、実行委員会にとっても負担となる。また日本学連としての空気も疲弊してしまうのではないかな。
河合	学連として危機的状況であることは確かなので、インカレがどうなるかはともかくとして、日本学連自体の今後のために OB に頼るという方向性で考えてもいいのではないかなと思う。
谷野	加盟員が減るということは加盟費も減少し、日本学連が動かせるお金も減るといことなので、この議題に関しては次期幹事長の若月を中心に考えてもらえればなと思う。
木村	大学は新型コロナウイルス感染拡大を抑えるために活動を規制するが、一方で UNIVAS, スポーツ庁の方ではいかにコロナ禍を克服してスポーツを続けていくか、スポーツをやめないという活動を行なっている。同じ政府系の団体でも、部門によって価値基準が違うということを感じている。大学当局は厳しいが、政府系全てがそうではないということも知っておいて欲しい。
山川	三密を避けてスポーツをやっていいと国は言っている。皆が戦っているのは大学当局である。
谷野	インカレに参加するために何度も大学とやりとりを行なってくれている人の苦勞を考えると、引き延ばしにした際にさらに交渉してもらうことになり、少し心苦しく思う。
山川	インカレに 35 年以上愛を注いできた者として自分の口から言うのは心苦しいが、インカレだけがオリエンテーリングではない。オリエンテーリングはオリエンテーリングそのものが楽しい。
河合	私は大学にいるので大学側の立場もよく分かる。
谷野	大学も好きで大学生の行動を規制しているわけではなく、大学なりに考えて動いた結果である。
谷野	今日の投票について説明する。幹事会内で決定する（=中止判断）か、総会で判断するかを決定したい。投票は番号選択、理由と共にチャットに書いて欲しい。
	<p>選択肢</p> <p>① 幹事会内で決定(=中止)</p> <p>② 総会で判断する</p> <p>(以下 投票結果、理由を記す)</p>

	<p>谷野 ① 総会で決めた判断基準に基づき、現実的に、引き延ばしによる開催見込みが少ないため。しっかりと考えた幹事の意見を尊重したいため。</p> <p>片岡 ① 開催基準から差がある状況を鑑みて、基準を尊重すべき。</p> <p>若月 ② 先ほど許可を得られていない大学の選手として、見通しは厳しいだろうと言う意見を出した。しかしこれはあくまで一選手としての見解であり、こうした個人の考える最新の「見通し」「希望の強さ」は様々である。これらを最も適切に汲み取れるのは総会であると考えている。</p> <p>滝澤 ① 現状として引き延ばしても開催できる見込みが薄い以上、実行委員会の負担を考えるとここで中止と決定するのが良いと感じます。総会に出したら選手目線では延期に望みをかけたいのは想定できるので、中止という結果を考えたらず延期してもダメより元の基準である開催判断日で決定するのが妥当だと思う。</p> <p>大石 ① 議題が複雑な分、長期にわたって議論を行なった幹事会を優先すべきである。</p> <p>佐藤（議決権なし） ① 総会で一度決めたことを総会にもう一度かければ覆すことができるという前例を作るべきではないと考えます。また、幹事内でも気持ちが悪くまとまらない現状、この短いスケジュールでインカレに対する各選手の意見を各校がその意見としてそれぞれ意見統一して持ってくるのは考えづらさを感じます。</p> <p>山田 ① 延期しても開催できる見込みが低く、延期した場合での会計的、労力的リスクが大きすぎるため。</p>
--	--

	<p>牧島 選手権の枠を返上した立場から、中止判断はどうしても出来ません。多くの人に負担がかかってしまうかもしれませんが、出場する立場である選手たちや参加許可の得られていない大学の意見を聞くべきだと思います。</p> <p>粟生 ① 個人的には開催中止判断を延期してでもやりたいとは思いますが、実行委員の方の負担や、各校渉外の負担を考えるといたずらに中止判断を引き延ばすべきではないと考えるため。</p> <p>寺田 ① 様々な方面からの意見を伺ったうえで、緊急事態宣言が仮に解除されてもインカレに参加できる線は薄いと結論づけました。</p> <p>原 ① 開催困難な状況で、幹事会と総会で同じ結論だとしても、日学幹事でしっかり話し合った意見を重要視すべきだと考える。もし総会をやる結論になったら、総会参加者は3年目や4年目の渉外担当など、ある程度背景を知っている人が望ましいと考える。</p> <p>金澤(議決権なし) ① 多くの大学の交渉状況を見た上で、開催判断を引き延ばした場合でも、大学の現実的な判断から見ると中止となる可能性が高いように思う幹事が多い印象です。このことと、一度決めた基準があることから、引き延ばしを総会に諮り、開催可否において(交渉の当事者ではなく)競技者の視点を中心とした判断を再び仰ぐのは、(総会をそのような場と捉えて良いかも悩んでいるのですが)個人的にはあまり良いこととは思えません。</p> <p>(以下幹事会に参加できなかった幹事の意見)</p> <p>菊地 ① 会計状況も悪化する一方で引き延ばしたところで開催の確定ができないのであれば引き延ばすメリットがありませんように感じます。</p> <p>岩田 ② 総会が最高決議機関だから</p>
--	---

	伊部 ② 論点から妥当に考えると①ではあるのでうまく理由は言えない  以上投票結果をまとめる ①幹事内で決定(=中止) 9 ②総会で判断を行う 4 棄権 1
谷野	投票結果より 2020 年度インカレミドルおよび団体戦は中止とする。
谷野	結論は幹事が必死に考えて出した結論であるので妥当であると思う。
谷野	事前に決めていた通り、関西学連と話し合いを行なって青山高原をもう一年クローズし、来年度春インカレに回したいと思う。
谷野	今後の報告については予定通り 2/19 発表で良いか。
糸賀	大丈夫です。
谷野	明日報告を行おうと思うが、結論を下したのは日本学連であるので、自分が責任を持って文章を書こうと思っている。その文章を流していただきたい。
糸賀	谷野が作った文章を渉外メーリスに流し、インカレ HP にも載せるとのことで良いか。
谷野	そうである。学生にはきちんと説明すべき。
木村	まず学連の HP に載せるべき。正しいニュースソースであることを示してデマが出ないようにしてほしい。
山川	文章の作成、添削は幹事長作業とする。
谷野	基本的には開催判断に従ったというのが一番の理由であり、議論を経て、投票になったという流れや背景をきちんと記載しようと思う。
木村	まずこの決定事項を伝えるべきだ。他のルートで情報が流れるのは避けたい。詳細は第 2 報で出すという形で良いのですぐにでも決定事項を公開してほしい。
谷野	わかりました。今日中に決定事項については連絡しようと思う。
実藤	学連 HP で公開したのち、インカレ HP に掲載しようと思う。
河合	難しい判断であったと思うが、議論を聞いていて、皆素晴らしい判断のできる人であるように感じた。自分の判断を誇りに思してほしい。
河合	日本学連の新入生が少なく、来年度も厳しい状況が続くと思われる。そういう場合に、金銭的な面でしかサポートできないが、OB に頼ってもらえればと思う。
木村	新歓に関して困ったことがあれば金銭的にサポートしたい。2 年連続で新入生が少ないと本当に危機である。それは何としてでも避けたいので気軽に声をかけてほしい。
谷野	以上で臨時幹事会を終わりとする。

以上